



# 平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年5月9日

上場会社名 株式会社フルヤ金属  
 コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 榑田 裕之

TEL 03-5977-3377

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年6月期第3四半期の業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	10,187	27.9	646	14.9	689	7.7	354	1.3
28年6月期第3四半期	14,128	13.3	759	49.6	746	52.7	350	58.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	49.38	49.22
28年6月期第3四半期	48.81	48.65

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	20,282	15,117	74.3
28年6月期	19,196	14,973	77.7

(参考)自己資本 29年6月期第3四半期 15,062百万円 28年6月期 14,924百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		0.00		50.00	50.00
29年6月期		0.00			
29年6月期(予想)				50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年6月期の業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	19.5	800	6.9	819	0.2	416	21.9	57.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期3Q	7,265,212 株	28年6月期	7,265,212 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

29年6月期3Q	85,569 株	28年6月期	87,169 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期3Q	7,265,212 株	28年6月期3Q	7,265,212 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、持ち直し基調が鮮明になった米国経済、英国のEU離脱問題の影響が懸念されたものの緩やかに回復している欧州経済、そして成長ペースの鈍化に一服感がみられる中国経済といった海外の経済環境の中で、全体として回復の動きに足踏みがみられる状況が続き、日米の金利政策の動向に為替相場や資源価格が反応して、不安定な状況が続きましたが、米国大統領選挙後のトランプ効果で一気に円安が進み、踊り場を脱して緩やかな回復の動きが出てきました。

このような経済環境の中、ガラス溶解装置向け白金製品、触媒向け化合物の受注が減少しましたが、各種電子部品や電子デバイス、半導体の需要は底固く、スマートフォン向け製品を中心に受注が堅調に推移したほか、HD向けのルテニウムターゲットの受注も持ち直してまいりました。その結果、当第3四半期累計期間において、売上高10,187百万円(前年同四半期比27.9%減)、売上総利益2,141百万円(前年同四半期比6.6%減)、営業利益646百万円(前年同四半期比14.9%減)、経常利益689百万円(前年同四半期比7.7%減)、四半期純利益354百万円(前年同四半期比1.3%増)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### ①セグメント別の業績

##### [電子]

ガラス溶解装置向け白金製品の受注が伸び悩み、スマートフォンなどのSAWデバイス(必要な周波数信号を取り出すデバイス)に使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けのイリジウムルツボの受注は、ほぼ予算計画どおりではあるものの前年同四半期における旺盛な需要に比べ減少したことから、売上高4,225百万円(前年同四半期比43.9%減)、売上総利益1,122百万円(前年同四半期比13.3%減)となりました。

##### [薄膜]

スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注が堅調に推移する一方で、HD向けルテニウムターゲット並びにBAWデバイス(高周波信号を取り出すデバイス)向けターゲットの受注は、ほぼ予算計画どおりではあるものの前年同四半期に比べ減少したことから、売上高3,484百万円(前年同四半期比1.0%減)、売上総利益610百万円(前年同四半期比12.5%減)となりました。

##### [センサー]

半導体製造装置メーカーや台湾の半導体メーカーからの受注が堅調に推移したものの、国内や米国の半導体メーカーからの受注が鈍化し、売上高1,486百万円(前年同四半期比4.2%増)、売上総利益355百万円(前年同四半期比21.0%減)となりました。

##### [その他]

有機EL向け化合物など、貴金属化合物の受注が持ち直してきたものの、使用済み電極の回収精製が伸び悩んだことに加え、触媒材料の受注が低調だったことから、売上高991百万円(前年同四半期比39.9%減)、売上総利益52百万円(前年同四半期比81.7%減)となりました。

#### ②海外売上

当第3四半期累計期間における輸出売上高は3,205百万円(総売上高に占める割合は31.5%)となりました。

地域別にはアジア向け輸出売上高2,218百万円(海外売上高に占める割合は69.2%)、北米向け輸出売上高887百万円(海外売上高に占める割合は27.7%)、欧州向け輸出売上高99百万円(海外売上高に占める割合は3.1%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は20,282百万円(前事業年度末比1,086百万円の増加)、負債は5,165百万円(前事業年度末比942百万円の増加)、純資産は15,117百万円(前事業年度末比143百万円の増加)となりました。

①流動資産

当第3四半期会計期間末における流動資産残高は11,511百万円となり、前事業年度末比1,390百万円増加いたしました。これは売掛金が712百万円、たな卸資産が626百万円増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第3四半期会計期間末における固定資産残高は8,771百万円となり、前事業年度末比304百万円減少いたしました。これは有形固定資産が223百万円、繰延税金資産が76百万円減少したことが主な要因であります。

③流動負債

当第3四半期会計期間末における流動負債残高は2,809百万円となり、前事業年度末比822百万円増加いたしました。これは短期借入金が300百万円、前受金が210百万円、買掛金が170百万円増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第3四半期会計期間末における固定負債残高は2,356百万円となり、前事業年度末比120百万円増加いたしました。これは長期借入金が95百万円増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第3四半期会計期間末における純資産残高は15,117百万円となり、前事業年度末比143百万円増加いたしました。これは利益剰余金が133百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月1日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,027	977
受取手形	130	111
売掛金	1,776	2,488
商品及び製品	490	317
仕掛品	624	1,182
原材料及び貯蔵品	5,572	5,813
前払費用	60	67
繰延税金資産	140	185
関係会社短期貸付金	90	91
未収消費税等	173	250
その他	32	23
流動資産合計	10,120	11,511
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,343	2,267
構築物(純額)	45	50
機械及び装置(純額)	3,621	3,484
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	30	39
土地	1,612	1,612
リース資産(純額)	41	40
建設仮勘定	76	53
有形固定資産合計	7,770	7,547
無形固定資産	83	72
投資その他の資産		
投資有価証券	6	19
関係会社株式	68	59
保険積立金	31	35
長期前払費用	6	4
繰延税金資産	1,054	977
その他	55	55
投資その他の資産合計	1,221	1,151
固定資産合計	9,076	8,771
資産合計	19,196	20,282

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	329	499
短期借入金	—	300
1年内返済予定の長期借入金	960	970
リース債務	13	12
未払金	258	371
未払法人税等	68	185
賞与引当金	186	92
役員賞与引当金	18	—
設備関係未払金	15	16
前受金	40	250
その他	96	109
流動負債合計	1,986	2,809
固定負債		
長期借入金	1,385	1,480
リース債務	31	30
長期未払金	405	405
退職給付引当金	393	420
資産除去債務	15	16
その他	4	4
固定負債合計	2,235	2,356
負債合計	4,222	5,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金	5,414	5,414
利益剰余金	4,327	4,461
自己株式	△263	△258
株主資本合計	14,924	15,062
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	2
評価・換算差額等合計	△1	2
新株予約権	51	52
純資産合計	14,973	15,117
負債純資産合計	19,196	20,282

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	14,128	10,187
売上原価	11,835	8,046
売上総利益	2,292	2,141
販売費及び一般管理費	1,532	1,495
営業利益	759	646
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
デリバティブ評価益	2	0
為替差益	—	29
助成金収入	53	24
雑収入	8	7
営業外収益合計	65	64
営業外費用		
支払利息	36	21
為替差損	41	—
雑損失	—	0
営業外費用合計	78	21
経常利益	746	689
特別利益		
受取保険金	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	9	1
特別損失合計	9	1
税引前四半期純利益	737	689
法人税、住民税及び事業税	52	163
法人税等調整額	334	172
四半期純利益	350	354

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前事業年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を第1四半期会計期間の期首の利益剰余金及び評価・換算差額等に加算しております。

この結果、第1四半期会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が139百万円、利益剰余金が139百万円増加しております。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	7,531	3,519	1,426	1,651	14,128
セグメント利益	1,294	697	450	284	2,728

(注) セグメント利益の合計額は、たな卸資産評価減前の売上総利益であり、当第3四半期累計期間損益計算書の売上総利益と一致していません。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,728
たな卸資産評価減	△435
四半期財務諸表の売上総利益	2,292

## II 当第3四半期累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	4,225	3,484	1,486	991	10,187
セグメント利益	1,122	610	355	52	2,141

(注) セグメント利益の合計額は、たな卸資産評価減前の売上総利益であり、当第3四半期累計期間損益計算書の売上総利益と一致しております。